

2023年度事業報告書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

特定非営利活動法人 りあん

I 全体の概要

障害のある人々が地域であたりまえに生活していきける社会の実現を図るため、障害のある人の自立・生活支援や、誰もが暮らしやすい街づくりに関する提言などを行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とし活動した。

運営委員会・総会などの開催状況

日程	種別	開催場所	検討内容など
4/22(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	お披露目会の振り返り、動画完成の確認、処遇改善、こての活用、ばばるで開催の再考
5/15(月) 19:00～	運営委員会議	こて web併用	総会にむけ、議案書資料の作成
5/27(土) 14:00～	定期総会	こて	事業報告、決算報告、事業計画、予算
7/1(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	403の活用案、登録ヘルパーの有給休暇、BCPの策定
9/23(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	求人紹介業者活用の是非、ガソリン代の検討、河本財団からの車両寄贈、こての活用
11/23(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	求人応募者、会計見込、国土交通省による新たな補助金、こての活用
1/13(土) 17:00～	運営委員会議	こて web併用	採用者の紹介、会計見込、実地指導の報告、こての活用
1/21(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	残業の推移、健康診断の課題、ばばるでの曜日変更、新入生勧誘の方法を検討、こての活用、よかともへのボランティア勧誘

II 事業の記録ならびに成果

1. 居宅支援事業

事業内容 指定障害福祉サービス事業所、および指定共生型訪問介護事業所の運営
対象者 自立支援給付を受給している人、および障害福祉サービスから移行して要介護認定を受けている人
実施場所 対象となる障害のある人宅又は外出先など
実施日時 通年

2. 外出支援事業

事業内容 各自治体委託 移動支援事業の実施
対象者 大津市・草津市・守山市・栗東市より、利用決定を受けている人
実施場所 対象となる障害のある人宅を拠点として外出先など
実施日時 通年

障害者総合支援法における障害福祉サービス事業所として、居宅介護(身体介護・家事援助・通院介助など)、重度訪問介護、行動援護、同行援護を実施した。また同法の地域生活支援事業である移動支援事業を、各市と委託契約を結び実施した。さらに障害福祉サービスを利用していた後に介護保険に移行した人に対し、できるだけ変わらない支援を継続して利用出来るよう、介護保険法における共生型訪問介護事業所としても支援を実施した。

主な成果は以下である

- ・高齢障害者の方が認知症となり、慣れない支援に困惑したが、他事業所と連携を取りながら在宅生活の維持に努めた。
- ・コロナ禍で外出が出来なかった利用者の人たちが、徐々に外出できるよう、利用前のサポートを含め、支援実施できた。
- ・成功報酬型の紹介事業所を初めて利用した。大きな投資だが効果があったと思われる。

※以下の4表は、障害福祉サービスおよび介護保険のサービスを含む。

利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
大津市	67	66	68	63	63	66	68	67	63	59	68	61	
草津市	14	13	14	15	14	15	14	13	16	14	14	16	
守山市	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	
野洲市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
栗東	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	
竜王町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
京都	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
合計	89	87	90	86	85	89	89	87	86	79	89	84	

- ・グループ支援のみの利用は、(参考:2021年度 月当たり合計利用者数 82名~91名)
人数にカウントしていない。(参考:2022年度 月当たり合計利用者数 84名~92名)

利用者数は大きな変化なく推移している。

介護種別利用時間数(時間)

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度計
身体介護	74	69	69.5	89	61.5	61	62.5	59.5	58	30.5	52.5	56	743	906
家事援助	34.25	37	36.5	40.25	24.5	20.75	27.5	18.75	22	15.25	24.25	21.5	322.5	465
通院介護	31.5	21	22	22.5	19.5	28	23	26.5	28	25	16.5	28.5	292	325.5
行動援護	29	29.5	20	29	26	45.5	32	32.5	34.5	25.5	36	45.5	385	403
同行援護	16	36	16.5	15	14.5	15.5	13.5	13	10.5	9	18.5	9.5	187.5	209
重度訪問介護	1637	1662	1613	1711	1674	1632	1656	1645	1685	1565	1659	1675	19810	19921
移動支援	376.5	382.5	359.5	318.5	335	348	363	330	352.5	321	299.5	308	4094	4319.5
グループ支援	60	167	43.5	59.5	5	178.5	5	17	80.5	22.5	36.5	36.8	711.8	370
介護保険	16	14.5	15	22	15.2	16	18	13.5	15	13	15	15	188.2	190.5
合計	2273.75	2418	2195.5	2306.25	2174.7	2344.75	2200	2155.75	2285.5	2026.75	2157.75	2195.3	26734	27109.5

身体介護や家事援助は減少、重度訪問介護は同程度、グループ支援は増加している。

時間帯別利用回数(回)

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度計
日中	331	339	334	359	328	328	322	318	330	316	313	324	3,942	3,933
介保日中	15	14.5	15	22	15	11	18	13	15	13	15	15	182	177
早朝/夜間	296	301	299	309	294	287	304	297	302	274	288	286	3,537	3,608
深夜	92	97	84	82	81	77	96	91	95	98	93	90	1,076	1,164
回数	734	752	732	772	718	703	740	719	742	701	709	715	8,737	8,882

- ・日中 8:00-18:00
- ・早朝/夜間 6:00-8:00/18:00-22:00
- ・深夜 22:00-6:00

日中が微増、夜間深夜が微減である。

従業員数(実働)(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
常勤ヘルパー	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	9	
パート(ヘルパー)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	
パート(主に事務)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
登録ヘルパー	41	46	52	49	44	48	45	47	44	49	48	47	
庶務アルバイト	1	1	0	1	1	1	1	2	2	1	1	1	

- (参考:2022年度 登録ヘルパー 46~53名)
- (参考:2021年度 登録ヘルパー 53~59名)

登録ヘルパーの数は2014年頃の70~80人をピークに減少傾向が続いている。

3. 相談支援事業

事業内容	大津市委託 相談支援事業、機能強化事業、ならびに障害支援区分認定調査および、指定 計画相談支援事業の実施
対象者	主に、大津市内の障害がある人やその関係者など
実施場所	事務所及びサービス対象となる障害のある人宅など
実施日時	通年

以下4つの事業を実施している。当事業所の特徴として、事業所内に障害当事者が勤務していることで、担当相談員だけでは分からない情報を得ることが出来、助かることも多い。

委託相談支援事業	市内10事業所(委託)	福祉サービスの情報提供／社会資源活用の支援／生活力を高める支援／権利擁護のために必要な援助／専門機関の紹介など相談全般を担う。付随して障害支援区分認定調査も実施。
機能強化事業	市内4事業所(委託)	専門的な相談支援を要する困難ケースへの対応、自立支援協議会の運営、他の指定相談支援事業者への専門的支援等を実施。
拠点コーディネーター	市内4事業所(委託)	ほっとネット事業(大津市地域生活支援拠点事業)の「お助け事業」「お泊まり事業」を通じて緊急対応事例の把握・分析等
計画相談	市内18事業所(指定)	利用契約を結んだ障害児者との間で、状況把握／情報提供／計画作成／関係者との調整、会議／モニタリング等を実施。

■委託相談支援事業

以下、相談者の主な障害種別と相談内容を示す。

相談内容別件数(件)

種別	件数	主な内容
福祉サービス利用等	937	福祉サービスの制度説明・申請補助／事業所(通所・ヘルプ・GH・訪問入浴等)探し・紹介・見学・同行／日々のサービス調整・予定表作成／介護保険
障害や病状の理解	70	家族や関係者へ障害特性の説明や共有／介助方法のアドバイス
健康医療	168	医療機関(医院・訪問看護・リハ)との連携／受診付添／マル福など申請補
不安の解消・情緒安定	26	日々の話を聴く(電話・メール等)
保育・教育	7	進路の悩みなど
家族関係・人間関係	42	支援者との関係性の課題／家族の病気や怪我／家族の困りごと対応／町内会やご近所との関係／友人知人との関係
家計・経済	19	生活保護関連申請補助／給付金等申請補助／金融機関への付添
生活技術	97	補装具(車イスなど)・用具・ICT機器の情報提供・申請補助・購入補助／住環境アドバイス／家電や日用品の買い物同行・代行・操作説明
就労	14	就労希望／ハローワーク同行／はたぐら同行／職場の課題
社会参加・余暇活動	50	日中一時支援等の利用関連／障害者スポーツ団体の紹介／畑で作業／旅行についての情報提供
権利擁護	6	成年後見制度の情報提供・申請補助／虐待関連

健康・医療に関連する相談が増加傾向である。

主な障害の種別

	知的障害	身体障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	重症心身障害	合計
成人	27	37	9	3	2	14	2	94
児童	6	1	0	2	0	0	4	13
計	33	38	9	5	2	14	6	107

○特徴的な活動や成果

- ・アメリカ留学にあたり先方のコーディネーターとの打ち合わせに同席。また帰国後に「わけ旅」(アクティブな車いすユーザ同士の主に旅行などの情報交換会)開催。
- ・当事者同士でITC機器の情報交換の場を設定(指先の少しの動きでのスマホを操作)
- ・スマホから操作できるスイッチを紹介、マンションインターフォンの解錠に役立つ。
- ・進路に悩む中学生より、高等養護学校の在學生や卒業生の生の意見を聞きたいという要望有

り、他相談事業所を通じて卒業生の紹介を受け実体験を聴き取り、伝言することが出来た。
 ・災害時の備えとしてのポータブル電源について、個々の使用機器の電力消費量の測定し、購入すべき商品の選定の参考となる資料の作成を実施。他でも活用できるよう資料を共有。

○地域課題として捉え提言したこと

- ・訪問入浴時に清拭対応が出来ない課題について、介護保険制度での対応や他市の情報を整理し、清拭でも何らかの算定ができないかと提言。
- ・介護保険と障害サービスの併用について、現状の大津市の基準ではニーズに対応出来ない事例があることから基準の見直しを提言。
- ・身体介護での入浴が週3回までしか認められない基準について撤廃を提言。

○その他

看取り事例が続いた

- ・50代、療育B+強迫性障害、姉家族と同居…7月初旬、食欲無く受診、悪性リンパ腫ステージ4と判明。入院望まず自宅で自然にと希望。往診・訪看など導入、頻度減らしつつも通所継続するが、8月末逝去。気付いた時には重篤であったのは、知的障害故に不調の訴えが困難なためか。
- ・60代、難病による肢体不自由、呼吸器装着…車いす移乗の際、気管カニューレが抜け心配停止。家族介護時の事故で亡くなられた事例は過去にもある。慢性的な介護疲れも要因か。家族の手で最後を迎えるのは幸か不幸か。
- ・70代、脳性麻痺による肢体不自由、入所…腸閉塞、誤嚥性肺炎などで入退院繰り返す。経口摂取難しくなるが胃薬など延命の意思はなし。当初、施設では看取れないと言われ、きょうだいの元へ帰る方針で動きかけるが、アテにしていた在宅医の協力を得られず頓挫。その後、施設が看取る方針に切り換え入所継続。翌月に逝去。

■機能強化事業

他の相談支援事業所への支援として、自立支援協議会や各団体での研修時の講師やファシリテーターとしての協力、初任者研修を受講される際のフォロー、電話などで日常的に相談対応などを実施。また、移動支援PJ、高齢PJ、高次脳機能障害連携会議などを担当し、各会議や研修会の企画などを実施。

■拠点コーディネーター事業

今年度より新たに受託。「おおつほっとネット」事業の中で、緊急対応や地域移行についての課題分析や地域全体での体制整備を考える役割であり、市内4ヶ所の機能強化事業所に併設された。当事業所では、常勤スタッフ1名(他業務と兼任で4分の1)を配置した。

事業の中の「お助け事業」について年度内唯一の利用事例に関わったこともあり、自立支援協議会の全体会において事例発表の機会を与えられた。

また「お泊まり」事業に対応出来るよう、当法人で賃借している賃貸物件を、独り暮らしの体験や緊急対応などに使える様、管理会社と交渉し了承を得たため、次年度より実施の見込である。

■計画相談

計画相談件数(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	計画作成	5	3	2	3	3	5	1	1	3	1	2	5	34
	モニタリング	7	3	4	4	4	3	5	3	1	4	3	2	43
障害児	計画作成	3	0	0	2	2	0	0	1	2	0	1	3	14
	モニタリング	0	2	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	8
合計		15	8	6	10	10	10	6	5	7	5	6	11	77

・今年度は高等部の卒業生が2名有り、共に福祉サービスの利用が多い事例であったので苦慮したが、何とか調整を終えた。

4. 福祉輸送事業

事業内容 特定旅客自動車運送事業の実施
 および大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の実施
 対象者 自立支援給付の受給や移動支援の決定を受けている人
 および大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の利用者
 実施場所 滋賀県内を起点とする
 実施日時 通年

ヘルパー利用時の乗車については運送事業の許可が必要であり、特定旅客自動車運送事業(道路運送法43条)、および自家用自動車の有償運送(同78条)を実施している。

移動支援、居宅介護(通院介助・身体介護など)、重度訪問介護などの利用時に、乗車中は介護給付の時間とせず、福祉輸送料金を徴収している。ただし大津市においては、2021年7月移動支援事業の制度変更の際、車両移送支援という新しい類型が設けられ、月5時間までの乗車については1割負担(例:1時間70~100円程度)で利用出来、有償運送と比して安価である。

福祉輸送利用状況 (参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度計
利用者数(人)	71	72	74	71	66	69	68	68	67					
利用件数(件)	296	281	300	308	273	285	270	279	271	259	268	265	3,355	3,439
走行距離数(km)	3,935	3,336	4,347	4,004	4,033	3,406	3,988	3,632	3,257	3,292	3,706	3,484	44,420	51,222

※2021年7月以降、大津市移動支援事業車両移送型の利用を含む。

2020年度より受託の「大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業」を継続して実施している。特別支援学校の送迎バスに乗れず、日頃は家族が送迎している方が対象となる。特に今年度は、依頼を全て受ける方針で実施し、実際、前年度と比して2倍以上の実施となった。結果、利用者や看護師との距離も縮まったように思われる。

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	6	8	7	0	7	3	7	2	4	7	5	59

(参考：2022年度実績 28回)

(参考：2021年度実績 34回)

2024年3月末現在の車両数、運転者数は以下の通り。今年度、車両の入替は無い。

- ・事業所保有車両…8台
- ・運転者…18人 (常勤 11人／登録ヘルパー 7人)

5. 私的居宅支援事業(ちゅぷ)

事業内容 私的居宅支援事業「ちゅぷ」の実施
 対象者 支援が必要な状況と当法人が認めた人
 実施場所 対象となる障害のある人宅又は外出先など
 実施日時 通年

当事業は、支援が必要な状況でありながら、制度の狭間などにあり、公的な支援が得られない場合に、有料であるが支援者を派遣するものである。利用料金は事業所で独自に設定し、最初の1時間までを1,000円、以降30分毎に350円としている。以下の3点を主な目的としている。

- ①制度の狭間などにあり居宅介護などを利用できない人のニーズに応えること
- ②資格を持たない人も関わることができること
- ③成果を上げることでその必要性を行政に訴える材料とできること

今年度の利用は無かった。過去の利用は、入院に関連するものが主である。

(参考:2019年度…5件／2020年度…0件／2021年度…2件／2022年度…0件)

6. 研修開催事業

事業内容 指定 居宅介護従業者養成研修事業の実施
対象者 障害のある人の支援に関わる人および関わろうとする人
実施場所 瀬田商工会館および周辺の地域
実施日時 年1回(別記)

今年度も、より多くのヘルパーを確保するため、ヘルパー研修を開催した。草津市に所在するNPO法人ディフェンスとは、研修開催の時期をずらすことで、共に協力体制を取っている。

従前より、講師・講師補助として障害当事者の協力を得ており、講義、実習共に、より実践的な内容になるよう検討を重ねつつ、幅広い障害当事者の協力を得ながら実施している。

重度訪問介護の支援者を増やす活動について、びわこ放送より取材を受けた。研修当日の様子や当事者講師や受講生のインタビューなども撮影され、後日、ニュース番組内の特集として放送された。

実施研修内容	実施期間	会場	定員	応募	受講	修了
重度訪問介護従業者養成研修	11/18,25,12/2 (3日間)	瀬田商工会館	30人	14人	11人	11人

7. 広報・啓発事業

事業内容 通信「ぬぷぼん」の発行などを通じての広報・啓発活動
対象者 不特定
実施場所 事務所・各開催地など
実施日時 随時(別記)

昨年度に完成した動画の掲載と併せて、法人のホームページを全面的にリニューアルした。

・外部研修講師など

実施内容	担当	実施機関	実施日
重度訪問介護従業者養成研修(うち2h)	阿部	NPO法人ディフェンス	6/11
大学授業内での宣伝や講義のサポート	門脇・阿部・ 藤田・染井	龍谷大学	4/26,5/8 ,5/23,5/29
相談支援専門員 初任者研修(部分) ファシリテーター	染井	県自立支援協議会	6/21,22
相談支援専門員 現任者研修(部分) ファシリテーター	染井	県自立支援協議会	10/18,11/21 ,12/26

8. 各種研修への参加・実施

事業内容 従業員の資質向上のため各種研修へ参加、又は実施する。
対象者 従業員
実施場所 各開催地など(別記)
実施日時 随時

登録ヘルパーも含め全てのヘルパーが、年間通して1回以上の研修に参加している。今年度は全体向けの研修は実施せず、事務所スタッフと登録ヘルパーとの連携を密にする狙いで、利用者ごとの個別の研修をこまめに実施した。

9. 交流事業の開催

事業内容 フリースペースこてを活用した交流事業の開催
対象者 当法人の各事業の利用者、関係者、および地域住民など
実施場所 大津市一里山の賃貸物件
実施日時 随時(別記)

事務所の隣のテナントを「フリースペースこて」として、以下のように活用することで、地域の方との交流の場とした。

1. 「つどい処ばばるで」の開催

実施日時	毎月 第2木曜日 16:00～21:00(夕食提供)
	毎月 第4土曜日 10:00～15:00(昼食提供)

事務所スタッフの人員不足で開催が困難な状況があったが、運営委員の協力により、後半は月2回の開催を再開できた。また、留学生ボランティアさんが自国料理を作るなど継続的に手伝ってくれた。

2. レンタルスペース

龍谷大学ボランティア・NPO活動センターの学生とのワークショップを開催、活用方法を再検討したことを機に利用が増えつつある。学生との共催イベントやゼミの懇親会のほか、地域のグループの集まりなどに利用されている。

利用件数…48件 (参考:2022年度 31件)

貸し部屋料金

基本料金	100円/時	障害当事者や団体などの場合は免除あり
夜間料金	+100円/時	
冷暖房使用料	+ 50円/時	エアコン・ペレットストーブなどを使用する場合
キッチン使用料	+100円/回	ガスを使用し調理などを実施する場合
ゴミ捨て委託料	+100円/回	ゴミを置いて帰る場合(分別は各々で実施)

3. フリースペース

その他、以下、交流会等で活用している。

- ・1時間までの利用はフリーとしており、食事や休憩の場として。
- ・感染予防のため、通常の外出先に行くことを避け、すごしの場として。
- ・ヘルパーとの外出時に、食事場所として立ち寄る方もある。

4. 避難所としての備え

災害時には、福祉的な避難所として活用される可能性があることや、業務中の災害時には利用者や従業員に限らず地域の方の役に立てるようにと考え、発電機や長期保存食、簡易トイレなど備蓄している。

10. シェアハウス運営事業

事業内容 シェアハウス「ポッシュ」の運営、生活体験室の運営、および交流事業の実施
対象者 居住者および近隣住民
実施場所 大津市大萱の賃貸物件
実施日時 通年

昨年度途中より「公営住宅に入居できるまでの仮住まいとして」居住されていた方は、無事に当

選され転居された。年度末時点では空室が一室ある状態だが、次の入居予定者がある。

一件、緊急避難場所を必要とされている方の相談を受けた際に、幸い空室状態であったので、一時的に利用された。

11. 日中一時支援事業

事業内容 日中一時支援事業の実施

対象者 大津市・草津市・栗東市より利用決定を受けている人

実施場所 大津市一里山の賃貸物件

実施日時 通年 週2回

2020年6月に開始、(火)(日)10:00～15:00、事務所と同じ建物の2階テナントにて実施したが、感染予防対策として「フリースペースこて」(1階)も活用することで分散した。基本8名までの利用定員としており、日曜日は希望者が多いため調整し利用してもらった。

日曜日や祝日も開催していることは地域の社会福祉資源の中ではめずらしいため喜ばれた。また利用者の費用負担を抑えるため、1人200円の食材費で工夫して調理し食事提供した。

季節ごとに、畑作業、味噌造りなどイベントを企画することもあるが、基本的に過ごし方は自由としている。休日をゆったりと過ごしたい方、菓子作りなど目的のある方、交流を期待する方など様々である。予てより希望の多かった買い物等の外出を、毎月1回、定期的実施出来た。

らて利用状況

参考

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2022年度
開所日 (日)	9	9	8	9	9	8	10	8	9	8	8	9	104	102
延人数 (人)	52	57	53	56	49	44	65	48	46	47	48	50	615	620
平均人数 (人)	5.78	6.33	6.63	6.22	5.44	5.50	6.50	6.00	5.11	5.88	6.00	5.56	5.91	6.08

開所状況や利用人数な、ほぼ横這いである。

事業支出額(全事業計) 116,385,272円